

II 検討内容

当委員会では、事業者から提出された「大阪・夢洲地区特定複合観光施設設置運営事業環境影響評価方法書」（以下「方法書」という。）について、専門的・技術的な立場から検討を行い、事業者が環境影響評価を実施するにあたり、配慮すべき事項を次のとおり取りまとめた。

1 全般事項

(1) 方法書に対する意見書について

- ・ 本方法書に対して住民等から 28 通の意見書が提出されており、当委員会ではこの内容を勘案し、審議検討を行った。
- ・ 意見書の概要については、「III 方法書に対して提出された意見書の概要」に示すとおりである。

(2) 事業計画について

- ・ 本事業は未来社会の実験場という大阪・関西万博のコンセプトを継承し、SDGs の達成に貢献するサステナブルな IR をめざしていることから、事業計画の検討にあたっては、環境影響評価技術指針に則ることはもとより、万博で実施される革新的で持続可能な取組を参考に 2030 年の SDGs 達成にとどまらず、その先の社会を見据えた具体的な取組内容を明らかにする必要がある。

(3) 複合的な影響について

- ・ 事業計画地である夢洲では、本事業の他、複数の事業が計画されていることから、これらの事業との複合的な影響の考え方について事業者を確認したところ、次のとおり説明があった。

〔事業者提出資料 1-1〕

夢洲内において実施される他事業との複合的な影響の考え方について

夢洲においてスケジュールが判明している他事業の状況は下表に示すとおりです。本事業の工事中（2023～2029年度）における主な他事業は、万博の工事・開催・撤去工事（2022年度10月頃～2026年度末）、鉄道事業（南ルート）のインフラ部、街づくり開発（2025年度9月頃～2027年度末）が計画されています。また、液状化対策工事、地中障害物撤去工事が計画されています（なお、当該工事の詳細等については検討中とされています）。

本事業の建設工事に伴う環境影響の予測については、住居等における環境影響が重なり合うことが想定される工事関連車両の走行等に伴う大気質、騒音、振動を対象とし、現況をバックグラウンドとした対象事業に伴う環境影響の予測に加え、対象事業以外の環境負荷を含めた複合影響の予測を行います。

具体的には、鉄道整備事業、万博事業について、大阪市都市計画都市高速鉄道北港テクノポート線環境影響評価書、2025年日本国際博覧会環境影響評価準備書に示されている各事業の工事関連車両の走行等に伴う大気質、騒音、振動の予測条件・結果を踏まえ、複合影響の予測に用いるバックグラウンドを設定することを基本とします。

また、「夢洲等まちづくり事業調整会議」にて工事関連車両の走行台数等を把握することが可能な夢洲の他事業については、当該事業も含めた複合影響を予測することとします。

なお、大阪市都市計画都市高速鉄道北港テクノポート線環境影響評価書、2025年日本国際博覧会環境影響評価準備書においては、各事業における環境影響が最大となる時期を対象として予測条件を設定していることから、本事業も含め、各々の環境影響が最大となる時期の予測条件・結果を重ね合わせた場合、実態とかけ離れた過大な予測となることも想定されます。したがって、複合影響の予測を進めていく中で、予測対象時期など予測条件の設定の考え方について検討することとします。

さらに、港湾計画において大阪港取扱貨物量の増加が見込まれていることから、港湾計画における物流車両に係る情報を把握することが可能な場合は、大阪市と協議のうえ、当該情報を考慮した複合影響を予測することとします。

インフラ整備箇所(区画番号)	項目	概要	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	～
			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	～
万博	大阪・関西万博	開催期間：(始)2025年4月13日(日曜日) (至)2025年10月13日(日曜日) 敷地面積：155ha パビリオン等：約110区画		基本計画	検討・設計等	基本計画	検討・設計等	地・インフラ工事	開業	撤去工事				
				基本計画	検討・設計等	基本計画	検討・設計等	パビリオン等建築工事						
IR	IR	敷地面積約49ha ※区域認定時期は進スケジュールによる ※建築状況によって1～3年程度後ろ倒しになる可能性がある			公衆・設計等						工事			
環境・社会・防災	[1]	埋立・盛土(万博)			地盤改良・盛土									
	[2]	埋立・盛土(IR)			埋立・盛土									
	[3-1]	地盤改良				地盤改良								
	[3-2]	地盤改良					地盤改良							
	[4]	浸水対策(G・H護岸)					工事							
	[5]	観光外周道路			予備設計	詳細設計等	工事	工事	工事	工事				
	[6]	(仮称)夢洲北高架橋 3径間連続鋼床版箱桁橋 L=195m, W=約16.4m~22.7m			予備設計	詳細設計等	工事	工事	工事	工事				
		(仮称)夢洲南高架橋 3径間連続鋼床版箱桁橋 L=195m, W=約16.4m~22.7m			予備設計	詳細設計等	工事	工事	工事	工事				
	[7]	下水道			詳細設計等				工事					
	[8]	上水道			詳細設計等				工事					
[9]	電気・通信・ガス			詳細設計等				工事						
物流・工事車両	[10]	鉄道(南ルート) インフラ部 駅前施設 インフラ外 駅前施設		基本設計 設計等				工事(開業準備)						
	[11]	夢洲幹線道路(周辺道路含む)					工事(掘立等)		工事(掘立等)					
	[12]	舞洲幹線道路					設計等		工事(開業準備)					
	[13]	舞洲東交差点立体交差化					設計等		工事					
	[14]	此花大橋					設計等		工事					
	[15]	夢洲大橋					予備設計	詳細設計等	工事					
	[16]	係留施設等					予備設計	詳細設計等	工事					
	[17]	消防拠点整備					予備設計	詳細設計等	工事					
	[18]	CONPASの導入					予備設計	詳細設計等	工事					
	[19]	車両待機場の整備					予備設計	詳細設計等	工事					
[20]	ターミナルゲートの時間延長 荷留地の拡張(ゲート増設) 映洲へシフト 工事車両対策					予備設計	詳細設計等	工事						

※ 事業概要及びスケジュール等は精査中

出典：「第7回夢洲等まちづくり事業調整会議 資料2-2」から抜粋(令和4年3月25日)

複合的な影響を低減するための他事業者との調整の考え方について、事業者を確認したところ、次のとおり説明があった。

[事業者提出資料 1-2]

工事中の複合影響の低減について

工事中の他事業との複合影響については、住居等における環境影響が重なり合うことが想